

長岡技術科学大学・NOSAI 中越と連携 ドローンを活用した鳥獣被害対策を推進

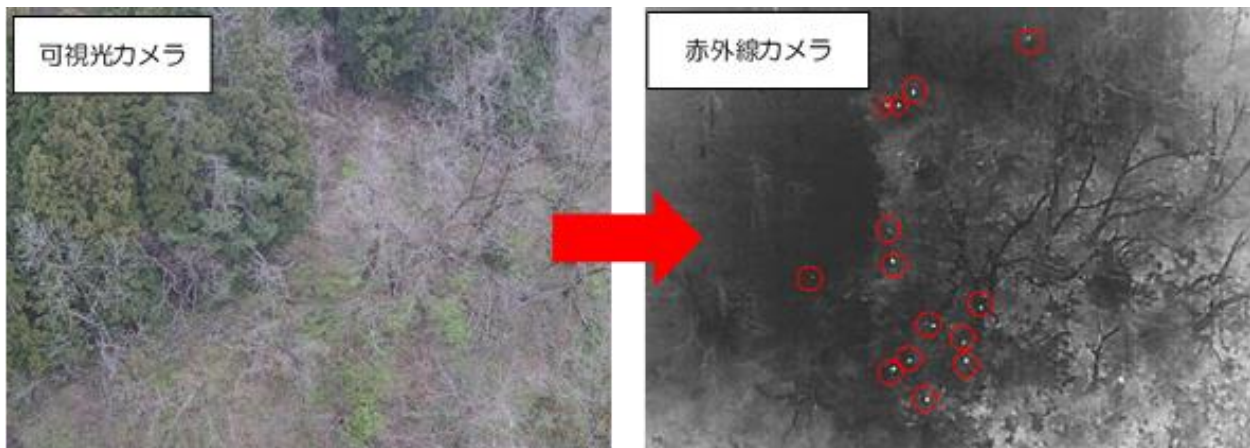
長岡市は、農作物への鳥獣被害を防止するため、捕獲、電気柵および追い払いを強化し、ICT技術の導入を含めた複合的な対策に取り組んでいます。

このたび、より効果的な被害対策に繋げるため、長岡技術科学大学・NOSAI 中越と連携し、赤外線カメラを搭載したドローンを活用し、人の立ち入りが難しい山間部で撮影を行い、目視では困難な個体調査を実施します。

1 栃尾地域におけるニホンザル個体数調査の実施

ニホンザルに装着してある発信器の電波を車で追い、ドローンを飛ばす場所を選定します。ニホンザル群れのおおよその位置が把握出来次第、長岡技術科学大学・山本麻希准教授の意見を聞きながら NOSAI 中越が所有するドローンにより調査を実施します。

- (1) 日時 12月12日(土) 午前9時～午後4時
※午前9時出発までに道の駅 R290 とちお(長岡市栃尾宮沢 1764)にお集まりください。
※雨天の場合は12月13日(日)午前9時～午後4時に延期します。
- (2) 撮影場所 長岡市栃尾地域の山間部
※調査は大型車両の通行が困難な狭い林道等も走行しますので、取材の際はご注意ください。
- (3) 取材申込 取材を希望される場合は、延期の場合の連絡等のため12月11日(金)までに環境政策課へご連絡ください。



2 鳥獣被害対策向けドローンの導入 ※市議会 12 月定例会に関連予算を提案しています。

昨年度から NOSAI 中越の協力を得て、サルの群れの調査やイノシシの冬季の一斉捕獲にドローンを活用してきました。

このたび、長岡市で鳥獣の出没件数・地域が拡大していることから、令和3年2月頃にドローン1台を導入し、市街地等における人身被害防止への利用や機動的な使用を可能とすることなど、幅広い活用を予定しています。

問い合わせ

1 について：環境政策課 TEL 0 2 5 8 - 2 4 - 0 5 2 8

2 について：農水産政策課 TEL 0 2 5 8 - 3 9 - 2 2 2 3